

オムツ交換時には、手にご注意ください！

(高知県衛生研究所所報第61号)

・全国的に保育施設での腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症の集団発生が増加しました(H25年19件、H26年17件)。

・腸管系感染症*の集団発生の予防には、二次汚染の防止が重要で、特に便などの適切な処理が必要です。

*主な腸管系感染症: EHEC感染症、ノロウイルス感染症など

そこで、オムツ交換後の手洗いに注目して、

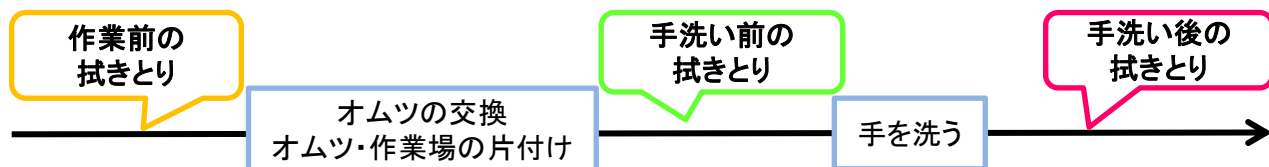
(1)オムツ交換での、手の汚染と手洗い・消毒の効果

(2)オムツ交換で、よく触る場所の掃除・消毒の効果

を調べました。

(1)オムツ交換での、手の汚染と手洗い・消毒の効果

オムツ交換作業中の手を三段階に分けて、綿棒で拭きとり、手についた汚染菌**の数の変化を調べました。



①オムツ交換時の手には、便由来の汚れが付いています。

大腸菌群数の結果(人数)

	作業前		手洗い前		手洗い後	
	検出なし	検出あり	検出なし	検出あり	検出なし	検出あり
紙オムツ	5	4	7	2	9	0
布オムツ	7	2	1	8	6	3
その他	2	0	1	1	2	0

作業前・・・検出される人がいました。

手洗い前・・・オムツ交換や片付けの時に手に付着したと考えられます。

手洗い後・・・手袋の再着用や脱ぎ方、手洗い方法に注意が必要です。

②オムツ交換によって手は汚れますので、手袋を着用するか手洗いしてください。

一般生菌数の結果(人数)

	作業前		手洗い前		手洗い後	
	基準値未満	基準値以上	基準値未満	基準値以上	基準値未満	基準値以上
紙オムツ	8	1	4	5	9	0
布オムツ	9	0	5	4	5	4
その他	2	0	2	0	2	0

一般生菌数は、手洗い前に15名が増加し、手洗い後に10名が減少しました。

「手洗い後」に基準値以上・・・手洗いが不十分と考えられます。

基準値: 10⁴cfu/ml ※※※ (10⁴=10,000)

ここに注意してください。

ア.手袋の扱い方、イ.手洗い方法、

ウ.汚染・非汚染区域のゾーニングと共有、エ.手洗い研修などの検討

※※汚染菌: 大腸菌群数・・・便や腸管系病原菌の汚染指標として一般的なもの。

菌数が多ければ、病原菌が存在する可能性が高くなる。

一般生菌数・・・微生物による汚染の程度を表す指標。

菌数が多ければ、病原菌が存在する可能性が高くなる。

※※※cfu/ml・・・綿棒の希釈液1ml中に存在する、生育可能な菌数

ア.手袋の扱い方に注意してください。

手袋の再着用は避け、2枚目を外すときに手袋の外側に触らないようにしましょう。
また、お尻を洗い終わったら手袋を交換するか、そのまま石けんで手を洗うようにしましょう。



① (1枚目) 手袋の手の甲の外側をつまみ、汚染面が内側になるように外します。



② (2枚目) 手の甲の内側(非汚染面)に指を差し入れ、汚染面が内側になるように外します。
(非汚染面のみを触ります。)



⑦ 作業後は、十分に手洗いをします。



イ.手をしっかり洗ってください(30秒目安)。

手袋を使っている場合でも、手洗いは重要です。石けん液・ペーパータオルを使用しましょう。
石けん液の詰め替えは避けてください。寝る前などに手のケア(保湿など)もおすすめです。

石けん液を使いよく泡立てて洗い、流水で流します



① 1 石けん液をつける。



② 2 手のひらを合わせよくこする



③ 3 手の甲、指の間を十分に洗う



④ 4 指先、爪の間を丹念にこする



⑤ 5 親指をねじり洗いする



⑥ 6 手首をねじり洗いする



水道栓を洗う



⑧ 8 ペーパータオルで手をふく

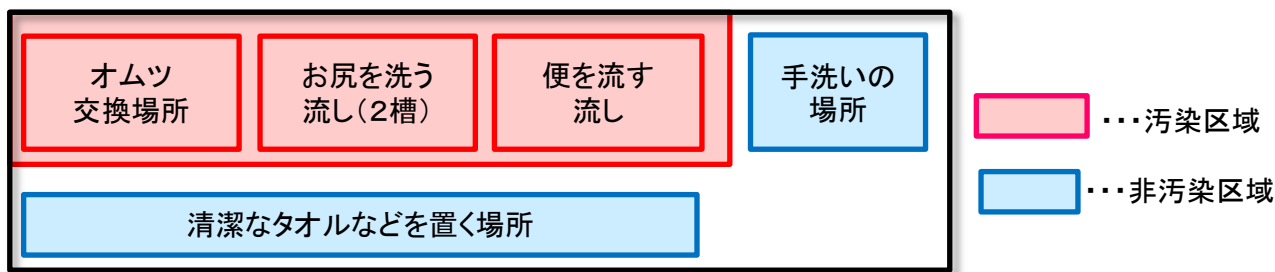


⑨ (水道栓を洗えないときは)ペーパータオルを使用して、水道栓を直接さわらずに締める。

ウ.汚染・非汚染区域の区別を共有してください。

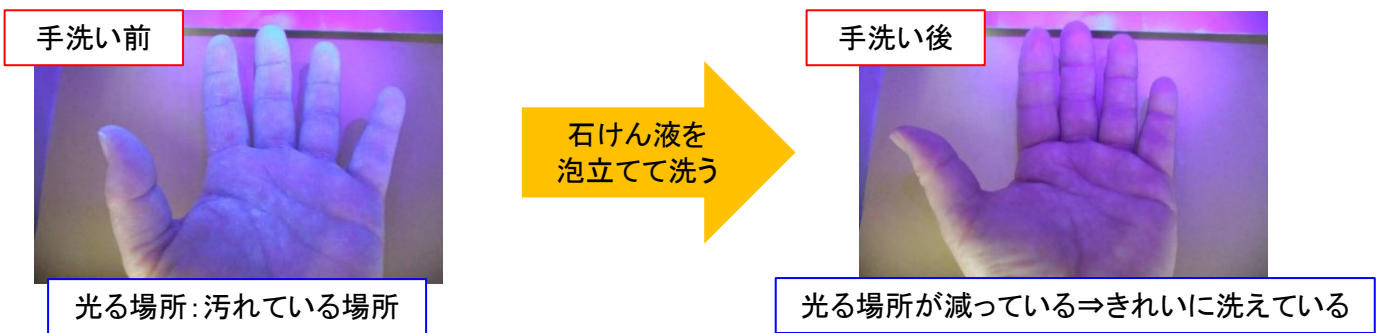
作業を汚染・非汚染に分けて、作業場所も区域分けし、同じ場所を使う人で共有しましょう。

(例):オムツ交換場所



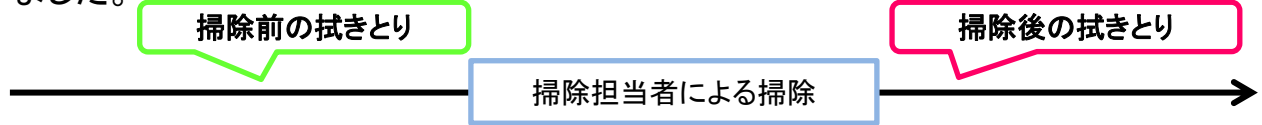
エ.手洗い研修などを検討してください。

手表面の汚れが洗い流せているかチェックし、よりよい手洗い方法を確認してください。



(2)オムツ交換で、よく触る場所の掃除・消毒の効果

夕方の掃除時間に、オムツ交換中によく触る場所を拭きとり、汚染菌の数の変化を調べました。



拭き取りを実施した場所

- シャワー握り手、排泄物流しレバー、手洗用洗剤容器の頭部、お尻洗い用水道蛇口(レバー式) ...3施設
- 手洗い用水道蛇口、仕切扉上部...2施設

①オムツ交換中によく触る場所には、便由来の汚れが付いています。

大腸菌群数の結果(施設数)

拭き取り箇所	掃除前		掃除後	
	検出なし	検出あり	検出なし	検出あり
シャワー握り手	2	1	3	0
排泄物流しレバー	3	0	3	0
手洗用洗剤容器の頭部	3	0	3	0
お尻洗い用水道蛇口(レバー式)	2	1	3	0
手洗い用水道蛇口	2	0	2	0
仕切扉上部	2	0	1	1

掃除前...作業中の手指から移ったり、残ったりした菌が検出されたと考えられます。

掃除後...掃除用手袋で触って付いた菌や、凹凸から浮き出た菌が、掃除できず検出されたと考えられます。

※シャワー握り手...オムツ交換時のお尻洗浄などに使用するシャワーの握り手
 ※お尻洗い用水道蛇口(レバー式)...シャワーの元栓に該当
 ※仕切扉上部...お尻洗い用の部屋にある、保育児の移動を制限する開き扉
 ※お尻洗い槽...お尻を洗うとき保育児を立たせる槽

②オムツ交換中によく触る場所は、汚れています。

一般細菌数の結果(施設数)

拭き取り箇所	掃除前		掃除後	
	基準値未満	基準値以上	基準値未満	基準値以上
シャワー握り手	1	2	0	3
排泄物流しレバー	3	0	3	0
手洗用洗剤容器の頭部	3	0	3	0
お尻洗い用水道蛇口(レバー式)	1	2	3	0
手洗い用水道蛇口	2	0	2	0
仕切扉上部	0	2	0	2

基準値: 10^3 cfu/ml ($10^3=1,000$)

掃除前に基準値以上・・・作業中によく触る場所は汚れると考えられます。

掃除後に基準値以上・・・掃除中にオムツ交換を行う、掃除用手袋で触る、表面が木製・凹凸である、雑巾の扱い方などに原因があると考えられます。

ここに注意してください。

- ア.消毒薬に浸す雑巾の扱い方、イ.被覆材等の材質
- ウ.掃除中にオムツ交換作業に使用していること etc.

ア.消毒薬に浸す雑巾の扱い方に注意してください。

消毒薬(塩素系)はたんぱく質があると効果が下がります。まず、洗剤などを使って目に見える汚れを洗い流してください。また、濃度や期限を守って、使ってください。

乾拭きを含めて、使った雑巾は汚れたと考えて、洗剤で洗い、水ですすぎ、乾燥させて、きれいな状態にしてください。消毒薬に浸す雑巾は、きれいな状態のものを使ってください。

イ.被覆材等の材質に注意してください。

消毒薬を浸した雑巾で拭く場所が、木製や凹凸がある場合、消毒薬の効果が低くなったり、菌が浮き出てくる可能性があります。

表面を滑らかな素材で覆うと、よりきれいに掃除できると考えられます。

ウ.オムツ交換後の片付けのときに、よく触る場所も一緒に洗ってください。

掃除・消毒後に乾燥させると、よりきれいに掃除できます。

毎回のオムツ交換後の片付けのときに、シャワー握り手、お尻洗い用水道蛇口(レバー式)など、よく触る場所も追加して一緒に洗うと、よりきれいに使用できると考えられます。

エ.掃除担当者も掃除のときに注意してください。

掃除用手袋は汚れていると考えてください。

掃除している場所が、どのような作業に使われているか知り、汚染・非汚染区域の区域分けも共有するようにしましょう。

また、シャワー握り手、お尻洗い用水道蛇口(レバー式)、仕切扉上部など、汚れている場所は、雑巾をまめに洗うなど工夫して掃除しましょう。